

家康の陣羽織 解説

静岡 岡

徳川みらい学会 服飾テーマに講演

徳川時代の歴史的意義を研究、発信する「徳川みらい学会」は12日、本年度第5回講演会を静岡市葵区のしずぎんホールユー

フォニアで開いた。学習院女子大准教授の福島雅子さんが「徳川家康と服飾」をテーマに講話した。

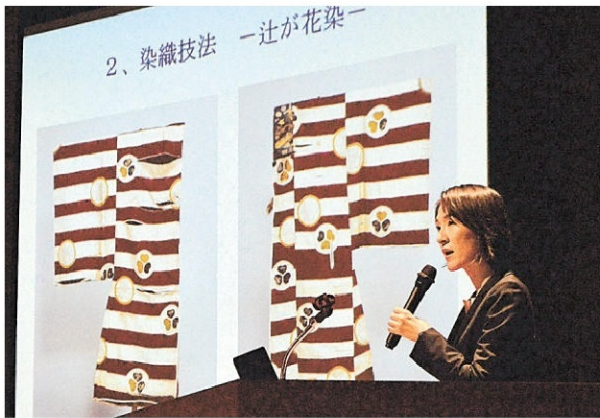
しずぎんホールユーフォニア 福島さんは、東京国

立博物館に所蔵されている家康が着用していたとみられる陣羽織に

関する研究内容を解説。「本能寺の変」の後に家康が危機を脱するため逃亡した「伊賀越え」の功績で、家臣に陣羽織が贈られた経緯を紹介した。

様の特徴や染色技法などにも触れ、「伝来を示す服飾品は、当時を知る上での貴重な資料になる」と語った。

(社会部・岩下勝哉)



「徳川家康と服飾」をテーマに講演する福島雅子さん＝12日午後、静岡市葵区のしずぎんホールユーフォニア